総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要

令和4年度

2. 分野別状況（2）地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション・農林水産業分野

	総合評価（ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
ながさき海洋・環境産業拠点特区 （長崎県、長崎市、佐世保市、西海市）	3.2	2.4 進捗度 ・県内造船所による高付加価値船・省エネ船の建造量64% 等	3.4 規制の特例等 ・同一特定倉庫内での保税工場の指定による物流コストの削減（関税法） 地域独自の取組 ・ものづくり支援補助事業 ・海洋エネルギー関連産業創出促進事業 等	3.4	・ウクライナ危機等により需要の低迷は如何ともし難いところがあるが、数多くの補助事業を実施し、税制上の優遇措置を講じるなど取組の方向は評価することができる。 ・「ながさき海洋・環境産業モデル」の実現は我が国にとって重要であり、継続的な取組を期待する。評価指標（3）に関しては、五島市沖浮体式洋上風力発電ウィンドファームが運転開始予定など、明るい見通しがあり、今後の更なる展開、波及が期待できる。 ・県内造船所による環境関連機器の取扱いや、海洋再生可能エネルギー利用発電設備については、様々な要因もあるだろうが、目標がやや過大であったようにも感じられる。 要因の分析とともに、海洋・環境産業の振興や環境保全に関して、より現実的な目標設定と、そのための取組が重要であろう。 ・環境性能に優れた高付加価値船・省エネ船の建造と、造船力を活かした海洋エネルギーインフラの創出との相乗効果をはかるために取り組まれた体制、仕組み、仕掛けがうまく機能したのかを点検いただき、協議会や制度活用の新たな展開方策をもとに、令和5年度からの計画につなげることを期待したい。